

# あすを拓く

## Wired Beans



東北最大級のDX（デジタルトランスフォーメーション）のプロ集団、それがワイヤードビーンズだ。エンジニアやディレクターなどは、仙台市中心部にある本社勤務とリモートワークで業務に向き合う。彼らを率いるのが、代表取締役の三輪寛さんだ。

### 循環型の知見・経験を地域に投資し地域復興へ

創業から14年。デジタルコマース企業として誕生した「ワイヤードビーンズ」。ECサイトの開発構築だけでなく、受注管理や顧客管理システムの導入・運用まで、ECビジネス（インターネット上で商品やサービスを売買するビジネス）でのトータルサポート事業を展開している。代表の三輪さんは「グローバルマーケットを見据え、デジタル技術を使い、仙台を核に東北圏の『地域経済活性化や日本文化の継承貢献』することが、私たちの目指すところだ。東北には人材も技術も、素材も空間も、宝が山のように眠っていると話す。

開いている。代表の三輪さんは「グローバルマーケットを見据え、デジタル技術を使い、仙台を核に東北圏の『地域経済活性化や日本文化の継承貢献』することが、私たちの目指すところだ。東北には人材も技術も、素材も空間も、宝が山のように眠っていると話す。

株式会社ワイヤードビーンズ  
代表取締役  
三輪 寛さん

プロフィール  
宮城県富谷市に在住。地元大学を卒業後に首都圏の大手IT企業でエンジニアとして国内外で勤務、支店責任者などを歴任。自身の体験から、東北から世界で戦えるIT企業を構築したいと強く感じ、「東北発の光る会社」を掲げ2009年に株ワイヤードビーンズを設立。



### 世界を相手にできる職人の技を育むために

注目したのは『職人の手仕事』。「職人の仕事は魅力的でした。マーケットさえあれば、彼らの技術は生きる。職人を世界に繋ぎ、地域復興を目指すには、ITがインフラになる」と三輪さんは確信する。

「私たちが行うマーケティングは、『職人と、ものづくりD2C』です。地域の職人のものづくりは丁寧で素晴らしい。この日本らしい美しさや豊かさ、伝統を、必要とする消費者に届ける『商品ブランド』を実現することです。この構想を具現化した、ワイヤードビーンズの職人ともものづくり事業のブランドが『生涯を添い遂げるグラス』などに代表される、グラスやマグカップなどの器シリーズだ。

「基本となるデザイン、在庫管理、販売は弊社が携わり、製造は全国の窯元に委託しています。アップル社が外注するようなものですね。異なる点は、基本となるフォルムデザインをワイヤードビーンズが作り、土や釉薬、色合いなどを委託する各地の職人の感性と経験をともに相談して決めていきます。このブランドの実現は、日本各地の職人との関係性を、三輪さんが丁寧に育んできたからこそ実現できた事業だ。

「商品は、職人さんの表現力や産地の伝統的な技法が反映され、個性や面白さがある逸品」と言う。「販売方法は90%がECで、残り10%が百貨店です。年間約5万個が動き、ここ4〜5年の前年比は、120〜130%で成長しています。まだまだマーケットは大きいと考えます」。



### ITの世界だからこそ五感体験が成功の鍵

現在、スタッフは60名ほどでその90%がUターンとJターン組。フランスやベトナム出身などの海外組もいる。

「実は、東北に生まれ育ち首都圏で働く有能な人材には、故郷に戻りたい人が多い。また自国から選抜され、東北大学をはじめ東北に立地する大学に在籍する極めて優秀な留学生の多くも、仙台や東北で働きたいと言います。でも残念なことに

「何かを見た時に、それに価値があるのか無いか？それを判断できる力は、過去の経験に関わってきます」と言う。幼少期からの経験の積み重ね。これが、将来に大きく影響すると説く三輪さん。

「重要なのは、学歴ではありませんが、ただ本気でさまざまな経験を積んだか。それは受験勉強かもしれないし、趣味や旅行かもしれない。あなたが何を頑張ってきたかを、きちんと伝えられるような経験を持ってほしい。最も良くないのは、何もしていないことです」。

努力している人ほど、自分が努力しているとは思っていないとつけ加える三輪さん。自身の新人時代を振り返り

東北には、IT分野で優れた人材を受け入れられる企業がありませんでした」。

自身も家庭の事情でUターンを希望し、培ったノウハウを生かせる企業に出会えなかった体験を持つ三輪さんは、地元でDX事業を立ち上げたいとの思いが募る。後にその思いは、ワイヤードビーンズの創業へとつながった。

「社内の同期では、ぶつちぎりのビリでした」と苦笑いする。大学で学んだことと全く異なる分野だったIT業界。思い返せば、将来のIT全盛期を想定し三輪さんをIT企業へ推薦してくれた大学時代の恩師。的確な上司の指導や、夢中で過ごした日々の経験。気付けばグローバルな活動をし、社内でもトップクラスの成績を残すほどのスキルを身に付けていた。

「スタッフにも家族にも『スマートフォンの中だけでは、幸せな人生は探せない』と話しています」という三輪さん。「スマートフォンが悪いのではなく、検索したことを入り口に、実際に行動を起こし、全身でたくさんの経験をしてほしい。それが必ず、自身の将来につながりますから」と話してくれた。



株式会社  
ワイヤードビーンズ  
所在地 仙台市青葉区五橋1-5-3  
アーバンネット五橋ビル6F  
TEL 022-380-8700  
URL https://www.wiredbeans.co.jp

